

再任用教職員勤務実態調査の結果

2022. 10. 17

秋田県教職員組合

全国的に「教師不足」が深刻な課題として取りざたされている中、再任用教職員として勤務されている方々のお陰で、秋田県は深刻な教員不足をかわろうじて回避できています。加えて、若年層が増え、中堅層・ベテラン層が減少している学校現場を、再任用教職員の方々は豊富な経験で支えてくださっています。

秋教組は、再任用教職員の方々に対してお力になれることはないかと考え、勤務実態調査を実施しました。

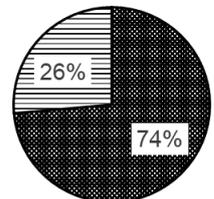
【資料】公務員定年一覧表

現在	○											
	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度
定年年齢→ ↓生年月日	60歳定年	61歳定年 定年退職者なし	61歳定年	62歳定年	62歳定年	63歳定年 定年退職者なし	63歳定年	64歳定年 定年退職者なし	64歳定年	65歳定年 定年退職者なし	65歳定年	65歳定年
1959年度生まれ	再任用3	再任用4	再任用5	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職
1960年度生まれ	再任用2	再任用3	再任用4	再任用5	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職
1961年度生まれ	再任用1	再任用2	再任用3	再任用4	再任用5	退職	退職	退職	退職	退職	退職	退職
1962年度生まれ	60歳	再任用1	再任用2	再任用3	再任用4	再任用5	退職	退職	退職	退職	退職	退職
1963年度生まれ	59歳	60歳	61歳	再任用1	再任用2	再任用3	再任用4	退職	退職	退職	退職	退職
1964年度生まれ	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	再任用1	再任用2	再任用3	退職	退職	退職	退職
1965年度生まれ	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	再任用1	再任用2	退職	退職	退職
1966年度生まれ	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	再任用1	退職	退職
1967年度生まれ	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	退職
1968年度生まれ	54歳	55歳	56歳	57歳	58歳	59歳	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳

今年度7月19日～8月26日の期間に、未加入の方を含めた全ての再任用教職員を対象として、県内全ての分会にアンケート用紙を送りました。その結果、組合で確認している再任用教職員293名中約7割の212名の方々から回答をいただきました。回答して下さった皆様、誠にありがとうございました。

回答した方の勤務形態の割合

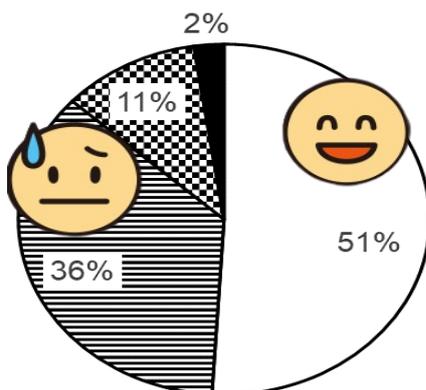
■フルタイム
□短時間



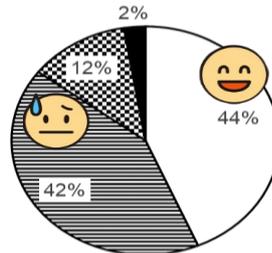
下のグラフは、「現在の仕事量についてどのように感じているか。」という質問に対する回答結果です。

仕事量についてのグラフ①
【回答者全員】

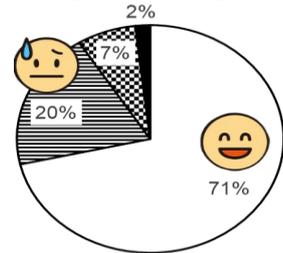
□ ちょうどよい
▨ 一部不満
▩ とても不満
■ その他



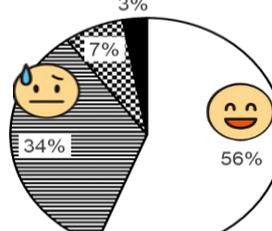
グラフ②
【フルタイムの方】



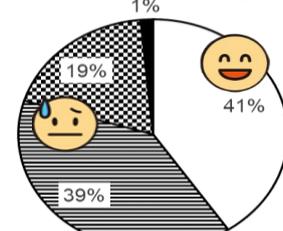
グラフ③
【短時間の方】



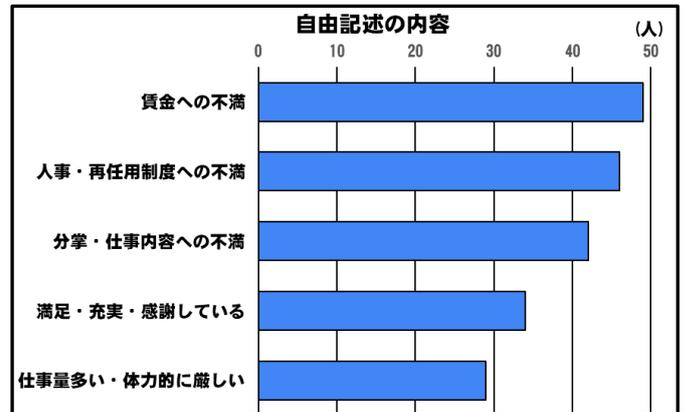
グラフ④
【小学校勤務の方】



グラフ⑤
【中学校勤務の方】



回答して下さった方々の自由記述を紹介します。個人が特定されないようにする配慮とスペースの関係で全てを紹介することができないのが心苦しいのですが、できるだけ多くの声を以下に掲載しましたので、是非ご覧ください。ちなみに、自由記述の内容を分類した結果、右のグラフのように「賃金への不満」が最も多いという結果になりました。



※個人が特定されると思われる情報には●で墨消し加工を加えています。

フルタイム	現在の仕事量について、不満ということではなく、再任用応募時に考えていたよりもはるかに仕事量が多く、難儀しているのが現状です。
フルタイム	再任用いただき感謝しています。再任用教員の特別支援学級担任について、退職時までに関験もなく、支援の仕方も困難を極める場合、現役時代に感じたことのないような、大きな精神的苦痛を感じています。再任用教員も個々の持ち味を生かした勤務を希望します。
フルタイム	再任用を希望するにあたり「現役の先生方を少しでもサポートできるように働くこと」を自分の目標としたので、私の場合はお陰様でやりがいをもって日々を過ごさせていただいております。現在、特別支援学級の担任をさせていただいておりますが、交流学級の●●の授業については主になって(T1)、普通学級の児童に教える機会を得て、現役時代と同じような充実感を覚えています。体力が確かに衰えてきているので、現在の状態がベストなのだろうと思っています。校務分掌も、私の場合負担を感じておりません。配慮して下さっていると感じています。
フルタイム	せめて勤勉手当率が懲戒処分者より低い現状は改善してほしい。精神的につらい。
フルタイム	端末関係のことで、年々、自分にとっては覚えるのが難しくなっている。
フルタイム	小規模校のため校務分掌が多いが、職場環境もよく不満はない。ただし、特別支援学級担任でほとんど手のかからない児童のため、これが普通学級なら負担が大きいかもしれない。
フルタイム	再任用の制度(給与面で出ない手当が多い、ボーナス率も低いなども含め)を、一般の先生方にも知ってもらえるとありがたいと思います。
フルタイム	初任研指導者については2年間という縛りがあるようだ。そういうことであれば事前に通達してほしい。
フルタイム	希望などを受け止めてくれたり、耳を傾けてくれたりする場がしっかりあることが、その後の職場での働き方・意欲につながっているなあと感じております。
フルタイム	給与が6割になったのだから、校務分掌も少し考慮してほしい。
フルタイム	自分の教師としての経験を十二分に生かせる仕事を与えていただき、大変感謝しています。日々充実しています。
フルタイム	特別支援の学級担任をしているが、とてもやりがいを感じているし楽しい。他に●●も担当しているが、負担は感じていない。まだ体力もあると思うので今後も働きたいと考えている。
フルタイム	特別支援学級担任として活用するのもわかるけど、特別支援学級担任の若年、ミドルリーダーなど各年齢層に応じたバランスの良い教職員の育成も視野に入れてほしい。
フルタイム	体力の衰えを日々感じておりますが、他の先生方と一緒に働くことができます。「再」とはいえ「任用」なのだから、甘えずにと思っていますが、職場の方々に気をつけていただいております。
フルタイム	給与7割は今までとそれほど大きな違いを感じないが、ボーナスが7割の1ヶ月だと少し違いは大きいと思う。仕事は現職とほとんど変わらないので。
フルタイム	このような調査を頂き大変ありがとうございます。再任用3年目ですが、当然のように現役以上の責任ある多くの校務分掌を任されています。コロナ化で再任用の人たちと交流する場も情報ありません。特に今年は1人で悩みを抱えて心療内科に相談に行こうと思っておりました。再任用の組合があればすぐ加入したいと思っています。こういう機会を与えて頂き大変有難いです。ありがとうございます。
フルタイム	退職を機に組合をやめてしまったのですが、相談された方と同じような思いを抱き、私も組合に相談しようかと思っていたところでした。フルタイムを希望していたので、学級担任は覚悟していたのですが、学年主任を命じられ、しかも前もって何の相談もなかったことに大変ショックを受けました。異動もあったので仕方がないことなのか…。校長の人事に異を唱えることができないのは分かっているのですが、厳しいなと思います。フルタイムを希望したことに後悔していません。再任用は歓迎されていないのでしょうか。講師が不足している話は聞きますが、実態はどうなのでしょう。色々な情報を集めて来年度の参考にしたいと思います。

フルタイム	特に不満はないが、給与面で初任者より少なく当初は衝撃でした。
フルタイム	再任用で管外に行かせないでほしい。管理職としての経験の浅い校長、教頭に1から教えたいことが多々ある。口に出せない自分に歯がゆさが残る。ストレスである。
フルタイム	再任用への改善も必要だと思うが、教員全体の勤務条件についての改善を第一に進めてほしいと感じています。
フルタイム	●年ぶりの学担であり、あまり経験のない●学年の担任で戸惑うことが多かった。学級の事務や教材研究、準備などに追われ、帰宅は毎日7時を過ぎてしまう。それでも間に合わず仕事を持ち帰ることもあるし、休日も1～2時間職場に出て仕事をしなくてはならない状況である。要領が悪いと言われればそれまでだが、担任している子供たちのためにはやらざるを得ない。また、ほぼ経験のない●●の担当を任されているが、十分な時間をさけないでいる。フルタイムでも、TTや専科の仕事があればと思うが、現状では無理なことであろう。次年度は短時間の勤務を希望しようと思っているが、個人的な生活のことを考えると悩むところである。
フルタイム	同一労働同一賃金からすると、退職前と同じ校務分掌を担っているのに、余りにも格差があり現状のままではフルタイムの再任用希望者はいなくなると思う。講師の希望者がいないということも同様であるが、学担手当を出すなど分掌に応じた手当を細かく設定し、仕事量が大変な人には
フルタイム	体力の衰えもあり、フルタイムはきつく感じるが増えた。現役時代と同等の業務をこなしているのに給料がかなり下げられているのは、納得しがたい。
フルタイム	生徒指導主事など、全体に関わる分掌は、後進、若手を育てていくためにも、現役を優先した方がよいと感じている。また、同じ再任用でも、空き時間が週に2時間しかない教員や、授業が週に5時間しかない教員がいて、バランスが悪い。
フルタイム	自分で希望したことなので、働かせていただいていることにとても感謝している。●年ぶりの学級担任で、しかも学年主任なので、一定の期間を要し、加えてそのことにより、同僚にもご迷惑をおかけした。
フルタイム	自分で希望して、退職後も同校で仕事しているので再任用だからと手を抜くつもりはない。ただ、体力的に無理が生じることもある。60歳で退職には意味があるのだなあと感じている。
フルタイム	職場がとても良く、同じ職場で●年間も勤務させてもらっています。大変ありがたく、今年で退職後3年目となります。体力的には大変ですが、無理ならばやめる予定です。
フルタイム	短時間勤務を増やしてほしいです。短時間の需要が少なく、仕方がなくフルタイムで頑張っている実情です。
フルタイム	特支のコーディネーターは、私の代わりに担当がおらず、年度初めの調査の報告、次年度の特支の学級編成の資料作りなど、全て任されている。他にも、支援員との調整など、幅広く仕事をしている。私が今年度で退職したら、次の担当者はとても戸惑うのではないかとと思われる。
フルタイム	学級担任を務めさせてもらった。指導主事訪問授業も割り振られた。他の職員と全く同一労働だが、賃金は同一ではない。改善してほしい。
フルタイム	これまでの経験を生かしたやりがいのある立場であってほしい。給料に見合った仕事というか再任用としての働きがいを感じられる仕事はないものだろうか。再任用者を安い給料で同じ仕事をさせるのはモチベーションがさがり。是非、きちんとした働き方を整備してほしい。
フルタイム	今後、退職年齢が段階的に引き上げられる中、再任用の枠は厳しくなっていきます。再任用にあたっては、正職員の枠を取っているのだから、それなりの覚悟で希望するようにとの教育長から校長会を通じてのお話がありました。高齢だから…という逃げ道は無いのだと思います。校務分掌も然りです。新採用の枠を一つ奪ってしまっている、という感覚は常にあります。それに見合うだけの仕事をするように自分に言い聞かせています。それができなくなったら、辞めるしかないと思います。ある先輩に言われました。再任用の人に対する周囲の目は厳しいと。退職金をもらったのに働いている、不平・不満を言っていると。だったら辞めればいいのか、と見られると。教諭は雇用形態を選択できませんが養護教諭はできません。全く同じ仕事をこなさなければなりません。退職前と全く同じことをしています。定時に帰ることも厳しいです。でも周囲の目は優しいです。再任用だからという扱いをせず、今まで通りの接し方をしてくれます。無理をせず自分にあった勤務を模索中です。少しずつ改善していきます。
フルタイム	給与が大幅に下がったのに、仕事量は全く変わらないどころか、むしろ増えて大変になっていることに不満を感じている。学校事情もあると思うが、本校では再任用教員が重要な部署についている。今後もそうなると思われるので、再任用教員の処遇の在り方について検討の必要がある。
フルタイム	退職前と同様の仕事をしていても、給料が大幅に減っているのが不満です。せめて講師と同じにしてほしい。来年度は講師にしようかと思うが、身分が不安定なのが不安。実際にどうなのだろうか。
フルタイム	今年度は学年部に恵まれて仕事をしているが、校内事情のため希望（県の面談）は受け入れられないと前年度の管理職に言われた時はショックであった。再任用を希望し、「常勤を選んだのだから担任は当たり前」という認識が無かったので、面談（県）のあり方、現役の6割という給料に見合う仕事について説明がほしいと感じた。

フルタイム	仕事量がとても多くてびっくり！せめて給料に見合った7割の量にしてほしい。同じ再任用でも人によって役職や仕事量に差がありすぎると思います。再任用でも担任をやる人もいたり…（60歳過ぎの先生が担任で子どもはどう思うでしょう…など感じます。）そんなに人がいないのでしょうか。
フルタイム	一般の教員と何が違うのでしょうか？大変曖昧な制度だと思います。仕事量に見合う給与が出ていれば何も問題はない。一般の教員とは別々に調整4%も撤廃して時給で採用したらよいのではないか。
フルタイム	担当する業務について、前年度中に（2月頃までに）説明があると見通しがもててありがたい。想定外の業務や校務分掌を課され、年度途中で退職を余儀なくされた方々がいらっしやるため、このようなことを避けるためにもぜひお願いしたい。※校務分掌については、学校の状況もあり難しいかもしれないので、せめて業務内容（校種・身分）だけでも分かるとありがたい。
フルタイム	はたらくというのは、こういうものだと思っています。
フルタイム	今年になって勤務を軽減してもらって助かっています。3年目です。
フルタイム	ゆっくりしたいのに「再任用してください」攻撃は勘弁してほしい。
フルタイム	職場で必要とされ、たくさんの仕事にやりがいは感じつつも、これで給料が大幅減になっている意味が分からない。超過勤務もたくさんしている。「給料に見合った仕事だけしてさっさと帰宅すればいい」ができないのが学校現場でしょう。再任用職員が、給料は減る代わりに保障される権利って、何かあるのでしょうか。
フルタイム	給与が(再任用で)約10万円減で、学年主任や進路指導主事の分掌を持ち、部活動主担当をこなす姿(退職前と同じかそれ以上)に、家内は半ば呆れ顔です…私は好きでやっている仕事なので構いませんが、家計を預かる者にとってはきついと言っています。また、友人からは「同一賃同一労働からは程遠いね」と揶揄され、苦笑いです。
フルタイム	このアンケートの趣旨説明に書かれている再任用教員からの相談には全く同感である。しかし、「教諭」として任用されている以上、他の教員と同等に働かないと現場に迷惑が掛かると思い、あきらめている。現状を変えるためには、再任用の雇用状態を変えるしかないと思うが、秋田県における現在の教員の配置状況を見ると難しいと言わざるを得ない。
フルタイム	初めての分掌や、部活動主担当という負担があり、精神的、体力的な負担が大きい。一人で悩みを抱えていたので、この調査はありがたい。今後に生かしてほしいと思う。
フルタイム	給与の面で、差別されているのが、とても不満。特に、常勤講師と比較して、ボーナスは半額、寒冷に手当なしなど、さらに仕事量は多いでは、やってられないという気持ちも生まれました。来年度は、再任用は断りました。
フルタイム	給料が減るのは覚悟していたが、それでも納得できるぐらい仕事量を軽減して欲しい。加えてボーナスの少なさは、すでに次年度更新にためらいを感じる。教諭でありながら、すき間埋めのような異動に振り回されて辞めた話も聞く。経験を現場に生かしてと思っても、軽視されている感が強い。
フルタイム	同一価値労働同一賃金は働くことにおける基本ではないかなと改めて思っています。賃金やボーナスが少ない再任用は「半分 社会貢献、ボランティア」と自分の中で納得しないと気持ちよくは働きません。賃金を上げるか仕事を大幅に減らすかするべきだと思います。
フルタイム	経験豊富を理由に校務分掌の皺寄せの帳尻合わせに使われている感がある。
フルタイム	分掌については、部活動含め総合的にみれば、配慮してもらっていると思われれます。今後が続く後輩のため、給料を下げていのはやむを得ないですが、期末手当は、他の教員と同じ率（現行は再任用は年2カ月余）。寒冷地手当も出すなど、その面で改善を望みます。
フルタイム	再任用後に新たに教務主任を任せられるなど、給与に対する業務量が割りにあわないと感じています。若年層に対する支援の余裕がない。
フルタイム	年齢からいって親の介護をしています。子どもさんを育てている方と同様に、支援なしでは部活動等全て同じくは働きません。また、当たり前ここにきて健康面も大変です。安心して働けるというのは恵まれたある期間だけなのだなと感じています。（体調も環境も）

短時間	午前中に働き、午後は親の介護や通院の付き添い、孫の保育園の世話等、自分にとってはとても合っている働き方だと思う。しかし、年度や学校によって短時間勤務の仕事内容に大差があり、不満はある。学校事情もあると思いますが、私自身は昨年度より仕事量はとても増えました。
短時間	管理職や周りの先生方もいろいろ配慮してくださっているのありがたい。短時間の勤務時間内で教育目標具現化のために努力したいと思う。
短時間	短時間勤務だと、校務分掌の中で頼まれた仕事を消化しきれないことがあるので、少しでも空き時間を作るなど配慮をしてもらいたい。私は空き時間を作ってもらえたが、同職の先生方にもそういった勤務状態であることを管理職などから伝えてもらいたい。
短時間	勤務時間や働き方に関して、管理職に尋ねても分からないことが多かった。専科という働き方でありながら急に自習の補充や特学担任など言われ、戸惑ったこともあった。

短時間	自分の働き方としては適度な仕事量で少しは子どもたちや学校に貢献できていると思います。学校としては加配を1人もらえると午後にも様々活用できるのですが、短時間の2人配置により、午前の活動に限定されるのが、不便さを感じると思います。
短時間	学校によって、どのような分掌になるのか違うようなので、事前の説明や再任用教職員の働き方の共通理解が必要と思う。
短時間	「年次」「休暇」の取り方等、勤務についてよく分からない点が多く、管理職・事務の方々にも周知していただけないかと感じることが多くありました（時短なので複雑なようです）。
短時間	短時間勤務、19時間中授業が15時間。準備や評価の時間があるのはありがたいと感じている。友人の話や学校によりかなり差があるようだ。短時間勤務であるのに校外学習（1日）の引率を命じられたりするのは、疑問に感じている。
短時間	短時間勤務で、教研に所属して会費も払っているが、ほとんど参加できない。教研への所属は来年度からしないと考えている。
短時間	再任用短時間では、学校事情で違っている面があるが、一つの教科を受けもって評価まで行うのは短時間勤務には不向きであり、若年層・新採用教員へのサポート（TT）を中心にして、後進の育成にあたるということを業務とするのが望ましい。この形での業務には、やりがいを感じられるが、この先のことを考えると、通常の教員の教科を丸ごとつことは教員育成の面か？である。
短時間	19時間の勤務時間では、教材研究や採点、評価等までは難しい（持ち時数15時間です）。どうしても、超過する時間が多くなってしまふ。短時間勤務の制度はありがたいですが、もう少し時間を増やしていただけたらと思います。23時間とか。
短時間	短時間勤務、週19時間で19時間の授業を担当しているため、教材研究や授業の準備はどうしても「サービス残業」か土日に持ち帰りとなりますが、それほど負担ではありません。
短時間	教育団体への加入は必要ないように思う。短時間なので全く参加できない。
短時間	勤務は午前中でとてもありがたい状況ですが、職員会議や研修会を通じての共通理解が図れず、申し訳なく思うことがあります。
短時間	短時間だと、（学級に入る）担任の先生との打ち合わせの時間が作れないので、授業が終わるのを待っていないとできない日もある。
短時間	体力的にも精神的にもフルタイムはきついと思い、半日勤務を希望しました。勤務時間が週19時間ということで、授業以外の校務は分掌はできないことになり、ちょうどよいと感じています。
短時間	週19時間勤務のため、健康保険の半額補助がありません。週20時間としてもらい、補助有りとしてもらえたら、負担が減るのではないかとと思うのですが詳しいことが分からないので…。よろしくお願ひします。
短時間	再任用する際の勤務条件について確認することが必要ですが、講師が不足していることから、校長との協議で決まることも仕方がないことだと考えます。
短時間	短時間勤務は、TT指導が主な仕事という条件のはずだったが、●年●●、●年●●と帰宅後も教材研究が必要で、何のための短時間勤務かわからない。
短時間	短時間で●学年希望だったが、●学年の●●を専科、TT合わせて16時間担当。準備時間3時間ではとても間に合わず、教材研究、評価など時間外で仕事をしている。人手不足なので、校外学習等の引率もあり（超過勤務で振替ありだが）。再任用され感謝しているが、事前に勤務内容を知っていれば引き受けなかったかも。
短時間	教育事務所での面談の際に自分にできることを聞かれ、希望通りにしていただきました。今の仕事に感謝とやりがいを感じています。再任用をするか、フルタイムか短時間か悩んだ時に校長からフルタイムは学級担任もある、その覚悟があるかないかとアドバイスされ、短時間に決めました。このアンケートの鏡文にある方のようにならないために、選択の時点で仕事内容を知っておくべきです。厳しい言い方になりますが、給料もらうのに楽しただけの仕事はないことを覚悟の上、再任用を選択すべきだと思います。私は体力的な不安から短時間にし、給料はかなり低いですが、正解でした。 ただし、勤務時間が他の職員とズレ、会議に出席できず共通理解が遅れること、専科のため、週19時間では授業の準備が間に合わないことが悩みです。教材研究の時間を1日1時間ずつ増やしてもらえると、過剰勤務時間が減らせます。求められる仕事をこなすためには時間が足りない、教職特別手当はたったの1400円、勤務超過せず、仕事ができるよう考慮していただきたいです。
短時間	短時間ということで希望通りの仕事でありたいかぎりです。しかし、週19時間勤務に対して専科で18時間、授業がうまっています。教材研究、実験準備、片付け、成績処理はとても厳しい対応となっています。勤務校によってあまりにも働き方に差が出ていることも首をかしげてしまうところです（お給料は同じ…です）。長く働くため、後の人のために一筆でした。
短時間	実態調査、ありがとうございます。声を聞いていただだけでもほっとします。短時間で19時間勤務、19コマ授業に出ています。現在は副で担当していますが、時々主を頼まれると授業準備をする時間を確保することが難しいです。研修や会議にも出席していないため、学校の流れに沿っているか不安です。

短時間	短時間だと週19時間。20時間だと社保や妻の国保等、個人掛でなくなりますが、19時間だと個人的負担が大きすぎる。なんとか改善できませんか。
短時間	短時間勤務という形態は、部活動、学級・学年の担当を分担することが実質できないので、負担が非常に少なく有難い。
短時間	1 再任用の制度そのものは、これまでの経験を生かす働き方として整備されつつあり、大変ありがたいと思っています。2 最大の問題点は、現場での職務内容決定等の退職者への配慮が欠けていることです。退職者間でも一番話題になることです。自分の場合、令和3年度は校内で職務内容が次々と追加され、思うように職務遂行ができず、職員室では疎外感を抱いてました。今年度は短期の教科専科ということで職務に専念できる環境でありがたいです。3 自分自身の反省点にもなりますが、管理職の教職員教育力を高めていく必要あり、と思います。令和3年度は管理職に相談しても解決しないことが多かったと感じていました。今年度はいろいろと助けられております。4 学校の教職員の様々なトラブルは人員不足から生じるものと思います。採用人員の増加対策について発想を変えていかないと教職希望者はもっと減少すると思われれます。
短時間	短時間勤務なので校務分掌をつけられても、その仕事を十分にやる時間がない。(会議は放課後なので参加できない。外部との連絡、面談等の時間がとれないなど。)校務分掌は担当をはずしてほしいと思う。半分の勤務時間で今までと同じ仕事をさせられ、給料は1/4である。この働き方には強い不満をもっている。
短時間	教科指導や、それに伴う準備及び対応・テスト作成などの全てを短時間(19時間)内で終了させることは不可能なスケジュールで組まざるを得ない状態です。見た目の1日の生活状況が現役時よりも余裕があるが故に、もしかすると以前以上にボランティア指導の時間が多いことや、もしそれをやるとしても、勤務時間前や放課後等に再度ボランティア出勤をしなければならないのが残念だし、教えている子供たちにも申し訳ない気持ちが膨らんでしまいます。19時間縛りが根底にあるとは思いますが、他の多くの職業とは全く違う職種であることを考えた再任用があれば、もっと積極的にもう少し長い時間(1日あたりプラス3~4時間など)の生徒への指導だけなら働きたい方も少なくないと思います。もし本当に全員が短時間(19時間)でキッチリ帰ったとしたら、回らない学校ばかりだと思います。いずれにしても、子供のことを考えて我慢しているのが実情です。調査活動ありがとうございます。

【資料】再任用教職員の賃金システムについて

下の表をご覧ください。賃金に対する不満の理由が分かります。尚、短時間の「19時間」という数字にも理由があることが分かります。

【賃金のシステム】	給料月額 ※金額は例です。	期末勤勉手当 ※金額は例です。	扶養 手当	住居 手当	寒冷地 手当	社会保険 加入の有無
現役	①408,156円	⑤1,714,255円 ※①×4.2 (4.2カ月分)	○	○	○	○
定年延長者 ※定年延長制度により 61歳以上で現役の方	②285,709円 ※①×0.7 (級号給の70%)	⑥1,199,778円 ※②×4.2 (4.2カ月分)	○	○	○	○
再任用者 フルタイム	③272,943円 ※①×約0.65 (定年退職時の約65%)	⑦600,474円 ※③×2.2 (2.2カ月分)	×	×	×	○
再任用者 短時間 ※19時間勤務	④133,830円 ※定額×19時間 ÷38時間45分	⑧294,426円 ※④×2.2 (2.2カ月分)	×	×	×	×

再来年度から、「61歳現役の方」と「62歳再任用の方」が存在し始めます。わずか1歳違い&同じ仕事量で年収70万円以上も違いが出ます。

働きがいを感じられる学校にする為 是非組合にご加入ください!

今後、再任用の組合員と本部常任による対策委員会を立ち上げ、「情報収集」や「県・国への要望作成」「情宣紙作成」などのとりくみを行っていく予定です。

【資料】再任用教職員の組合費(月額)

- ◆再任用教員… (給料月額+教職調整額) × 1.7% ※現役教諭は2.5%
- ◆再任用事務職員・栄養職員… 給料月額 × 1.7%
- ◆再任用(短時間)… 1,000円